

はくぶつかん

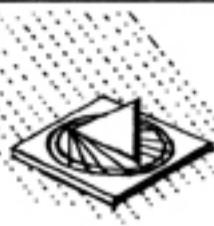
HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 6 NO.1 1982. 2. 1

平塚市博物館 TNO 70

教育普及活動の紹介 ③

日時計を作ろう



むかしの人達は、時をどのようにとらえていたのでしょうか？古代オリエント地方の古い文献の中に、「日はまだ高いし、家畜を集める時でもない・・・」、「日の暑くなるころ・・・」、「時は夕暮れで、女たちが水をくみに出る時刻であった・・・」などという表現が見られ、時間を大変大まかにとらえていた状況がわかります。

「朝、暁ニ鳴ク。」などという言葉も、時の観念を自然現象の中に求め、大変おおらかなとらえ方をしていたことを教えてくれるものでしょう。

今回は、太陽の運行から、さらにくわしいく時刻>を知ることを発明した人びとの知恵を追って、日時計を作る体験学習が行われましたので、その時の模様をご紹介しましょう。

先月の24日に、プラネタリウムの投影でおなじみの、鷲（がん）、岩上両学芸員の指導を受けて、写真に映っている人びとが、驚くほど正確に<時刻>を知らせてくれる日時計を作りました。

以下は、当日参加した人びとの感想文です。

◇はりの役目をするアルミ板を金ノコで切るときは、大変でした。金ノコを使うのがはじめてだったからです。係の人に手つだつてもらい、「切る時は、こちよこちよやるんだよ」という、コツも教えてもらいました。

日本全国どこでも時間は同じだと思っていたのに、兵庫県明石市と平塚では、17分30秒も時間がちがうのがわかりました。

（勝原小 4年 永井 亮）

◇はくぶつかんに行くまでは、日時計を作るのはむずかしいと思っていたけれど、作って見たらかんたんでした。

おく上に行ってかんさつしたら、時間があってたので、うれしくてたまりませんでした。

（真土小 2年 岩佐ちえ）

◇日時計を作った。台座に文字盤をはり、三角形のアルミ板の直角の部分を北に合わせ台座に立てると、近代的な日時計が出来た。

屋上で、方向を合わせ時刻をはかる。天気が良く、太陽の影がはっきり読めた。

（南原小 5年 岡崎 雄）

裏 4 ページへつづく



2月の行事

1	月	休館日
2	火	体験学習会「陶器を作ろう」
3	水	"
4	木	"
5	金	"
6	土	プラネタリウム 古文書講読会
7	日	プラネタリウム
8	月	休館日
9	火	
10	水	
11	木	(建国記念の日) 休館日
12	金	
13	土	プラネタリウム 土曜観察会「水辺の足跡探し」 石仏を調べる会
14	日	プラネタリウム 自然観察会「カモの観察」 星を見る会「太陽黒点を見よう」
15	月	休館日
16	火	
17	水	
18	木	デッサン教室
19	金	"
20	土	プラネタリウム 古文書講読会
21	日	プラネタリウム
22	月	休館日
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	プラネタリウム 石仏を調べる会
28	日	プラネタリウム

※2月のプラネタリウムは、「西暦とは」をテーマに投影します。

3月の行事

●星を見る会

「月を見よう」

日時 3月6日(土) 17時~19時まで

場所 博物館科学教室

月令10日の月を観察します。参加は自由ですので、当日科学教室へお集り下さい。なお、雨天曇天でも行ないます。

●土曜観察会

日時 3月13日(土) 14時~16時まで

場所 北金目・真田地区の社寺の森をたずねる

参加希望者は、往復ハガキで2月末日までに、博物館まで申し込んで下さい。

●横内地区自然観察会

日時 3月14日(日) 9時30分~12時

まで 雨天中止

集合 午前9時30分 横内公民館前

横内地区の方を対象に、身近な自然を観察する会です。参加希望者は、筆記用具を持参して、当日集合場所へ集って下さい。申し込みはいりません。

野鳥や、春を待つ植物の観察を行ないます。

●体験学習シリーズ No.63

「拓本墨を作ろう」

日時 3月27日(日) 9時30分~15時

場所 博物館科学教室

対象 小・中学生で定員は30名

申し込み 3月10日までに往復ハガキで

なお、材料費として500円を徴収します。

拓本墨を自分で作り、出来上った墨で実技指導も行ないます。

●寄贈品コーナー

高橋倫子コレクション、油絵4点、水彩画3点、彫刻2点、工芸品4点、合計13点の寄贈品の紹介を行ないます。

期間 2月2日(火)~3月30日(火)



発掘された平塚

奈良時代の庶民のくらし

奈良時代を理解する一つの手立てとして「万葉集」があげられます。その中に、「あおによし 奈良の都は 咲く花の薫うがごとく 今盛りなり」の歌と、山上憶良の「貧窮問答歌」があり、この二首は相対する状況を示すものとして大変興味深いものです。前者は都の繁栄を歌い、後者は庶民のくらしぶりの悲惨な姿を歌いあげたものであり、同じ貴族人でありながら、当時の社会状況の把握の仕方が全く異なっています。前者は天皇家への讃美歌であり、後者の方は当時の奈良の姿を的確に写し出したものと思います。

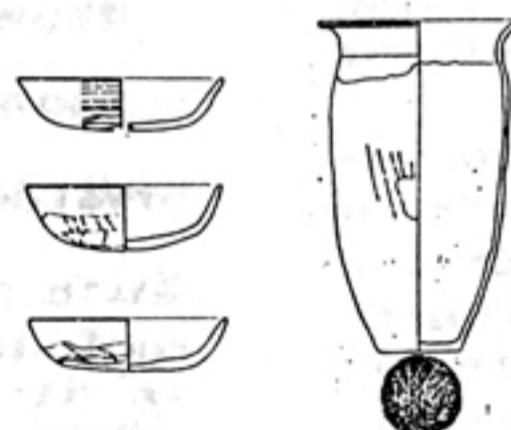
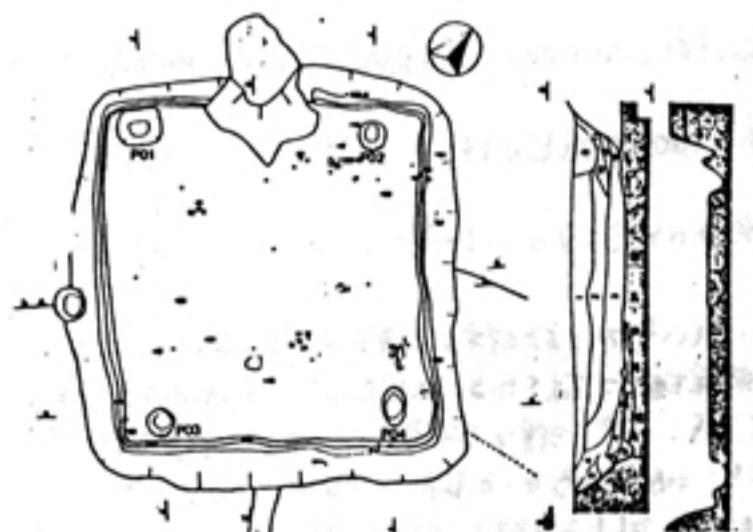
「貧窮問答歌」の一部をあげると、「・・伏盧の内に 直士に 薫解き敷きて 父母は 枕の方に 妻子どもは 足の方に 囲み居て 憂ひ吟ひかまどには 火気ふき立てず瓶には 蜘蛛の巣懸きて 飯炊ぐ ことも忘れて……」とあります。これは漬れたような倒れかかりのいおりの内で、地面にじかに薫を解き敷いて、父母は頭の方に、妻や子は足の方に自分を囲んで、悲嘆にくれて溜息をつく。かまどには火の氣を立てることもなく、瓶にはいつしか蜘蛛が巣をはって、飯をたくこと

も忘れてしまって……と解せられます。このような状況が現に奈良の都の庶民でさえも起っていることから、東国の相模の平塚の地ですら、容易に庶民のくらしぶりが分かろうかと思います。

発掘された中原上宿の奈良時代の家を見ると、一辺が約4mほどの四角に地面を掘り凹められ、北の壁には窓が設けられています。中から出土したものに土師器甕(物を煮る器)、壺(食器)、須恵器壺(美濃でつくられた製品)、刃子(切り出しナイフのようなもの)、砥石 や土錘(網のおもり)などがあります。他に、衣類や農耕道具などがあったと思いますが、木・竹製、皮製品、繊維製品は長年の中に朽ち果ててしまったと考えられます。しかし前の歌でもわかるように、庶民のくらしぶりはきっと我々が考えるほどには豊かではなかったと思います。

まして一度大旱、大雨、地震や火山灰降下が起これば、それは一つの集落ばかりでなく一国の生死をかける大事件でもあったわけです。こうした状況は「六国史」などに随所に垣間見ることができます。

律令という苛酷な法の枠の中もありながら、さらに厳しい自然現象に対し、力強く生きてきた人々のくらしを、一軒の竪穴から読み取ることが出来るかと思います。(明石学芸員)



中原上宿10号住居址と出土遺物

—1月受入寄贈資料(敬称略)—

- 1.2.2.4 大東亜戦争割引国庫債券 平塚市老松
町5 宮代長次
1. 6 土佐藩「藩札」平塚市高村26-27
-302 浜口正太郎
1.13 ハクビシン 平塚市南原633 小宮

- 卯三郎
1.16 ヒヨドリ 平塚市桃浜町8-2-408
谷直樹
1.20 ヘンバリー隕石 平塚市東中原2-9
横川富雄
ご協力を深く感謝いたします。

*1 ページからつづく

◇ ぼくは、「日時計を作ろう」にさんかして、いろいろなことを知りました。太陽が真南にくるときは、ひらつかとはかのところではちがうということも知りました。

又、日本では、各地で時間がちがうから、日本標準時ということができていて、その標準時は、明石というところできめているということもわかりました。 (八幡小 5年 清一之)

(八幅小 5年 清 一之)

天文コーナー



節分と立春

2月4日は立春です。前日の節分は、節を分けるという意味の日で、年男の豆まきでなじみの深い日です。

この節というのは、古く中国で星座の中の太陽の位置から季節を知る目やすとして作られたもので、太陽の通り道（黄道）を春分から角度で15度ずつ、24の点（節）で分割し、この24の点にそれぞれ太陽が来た時の気候を表わすような名をつけて24節氣（にじゅうしせつき）と呼びました。

よく、「暦の上では——」と言いますが、暦の春は立春から始まります。立春とは、冬至を過ぎた太陽が、その輝きをとりもどし、少しずつ日を伸ばし、春の光を感じさせるところからつけられたのでしょうか。

(原・学芸員)

◇ 三角のアルミと四角い板？ こんながらくたの
ような物で時刻が分かるなんて不思議です。
さい初に作る時は、かんたんそうに見えました
が、作ってみると難しく、特にアルミを切る時が
難しかった。

また次回もあれば参加し、友人にも進めたいです。（花水小5年 谷直樹）

(花水小 5年 谷 直樹)

みんなのサロン



「なんでも書いてみよう」ノートより皆さんのご意見

「九月ボリュームを出され、あれこれとお問い合わせがあり、みなさんのお書きになりました大車を詰ませてもらいました。いろいろな人が書いてくれているの見て、でこもうれしく、又おもしろく読ませてもらいました。かわいい博物館とうことですか、いつもぐるめにしとて、友達と/orいふ人々からよいと思ひます。友達はいまやが、陰気な博物館はないたちばかりで、前はよく妹と来ましたが、いまはが気兼ねなど、いえであります。友達がほしくあるのです。たしかにさがしてもらえないなんか? サークル-6000を×33に参加できる人は、いいだけれども33に参加できない人にも、博物館を通じて友達ができるのです。おねがいします。
ペンシルなどもいってお博物館のときはお願いします。それは思ひに残る博物館になります。や後の工事はお隣りですか? 早く出来るといいな。SLはどこに消えたのですか?
~おおきな車の音~ 「九月後?」にまたきます。かわいい車見物風景がでかいのです。

(博物館からのお答え)

КФ 2-2 КН 360

豫算の額を超過する。高いですね。既に開催上場内は一定程度賄
て取扱う事であります。それが、随處店舗一ヶ月かかるかもしくは二ヶ月。
何が最も多く貰う事であります。一ヶ月以内で出発しておき
ます。運送料金もかかりません。一度、新規の会員登録部屋で計り2度で100
万円位。日曜日の方、小学生・中学生・高校生・大学生など一人で運んでい
る事が多い。多くは、西日本の方で、東北の方は少く、関東の方達
の多いです。また、主な方と聞く限りでは、多野の会員登録上、多くは一日仕事を行って
ます。それと併せて、一日の仕事費を手元、2万円。翌日は中央へ向かう友人や
へかたえみこすと2~3万円費します。費用は専門的なものでは、もう少し少
く運送費は、是非一ヶ月、3月まで運んで下さい。